



東京水四カブ隊
発行人川原 正
昭和廿年三月廿日

てのべてみましに
カブ諸君も一年をぶりかえつ
てよいカブスカウトにはなよ
うにどりよくしてください。

松達はよく勉強、研究して
よいものが出来るようにカブ
講習はやくそく、さだめをガ
ブにおいてはもちろん、かつ
こうでも、かていにおいても

よくそもそもこの水四カブ隊
をよりよいカブ隊にそだてて
ゆくように協力しませんよ
う。新年度にあたりやすく
し実行してゆきましょう。

カブピクニック

東京遠足で主催のカブピク
ニックが三月二十五日に江之
島、鎌倉方面に行われました。
四隊でも十三名のカブ諸君

と川原さんが参加しました。
江の島、鎌倉間六キロの道を
海戦すついに天気のあまりよく
はい海岸を強い風に吹かれま
がり鎌倉へ進みました。
一諸に池のまわりで昼食をた
べ鎌倉から江の島迄貸切りバ
スで歩いてチリ道をもどりました。
江の島で全部のカブスカウト
やボーイスカウトのお兄さん達
と共に水族館を見学しました。
大型は魚をとるもりや船の模
型、又ものすごく大きい海蛇の
標本、目のさめるような熱帯魚
等あるいは漁れなどふうとは
してしまつた雨の中を江の島
駅までかけあし、新宿の駅には
シースカウトの石川さん、渡辺
さんが迎えにきてくれ途中で大
和さんに迎えられ帰途についた。

月の輪 さくらばり

が一號で報告致しましたが色々な面であります。よいとは思われない面でホーイ・スカウト指導者と共に謝し合ひを致し各々の立場でカブ諸君がよいほうへ進むよう以致しました。フマの諸君は名々のところでした。しかしと強烈に、スカウティングを続けられる方はしつかりとしに立派なスカウトになつて下さい。現在迄の希望によると古矢伝一君、富山博君、喜崎俊作君、平水章君はホーイ・スカウトへ、安藤尚之君、川瀬隆三君はカブの月の輪として残り、太田登君、眞木壯一郎君、野瀬成夫君は学校がハヤシカスクアドを続けることが不可避となり一応退院することになりました。他の方は未報告です。

行事 報告

三月三日 テーマに基づき聖火内見学。竹林と共に交通や金漫画等の幻燈を見せて、ただいた。

。 月例会。共に懇かれておしい? やきめしが出来、皆名コックバリをはつきする。

。 一日のピクニツクは前日雨の為中止。普選の集会を行ふ。又の校会へピクニツクを行ふ予定です。

。 二十九日 十三名が東京連盟のカブビクニツクへ参加。

○ 三月十五日 谷中信行君、十九日 田中正彦君
四月三日 戸倉豊君 四月二十日 太田登君 二十七日 眞木壯一郎君 二十九日 三田忠昭君

行事 預定

。 四月七日 月例会と共にクマのお祭りの会等をする予定。

。 同日 精比田のスカウ

ト招待の東京遠點におけるキャンプアイマーと明治神宮相模場にて行かれます。はる四隊は東京音頭を山手地区代表として踊る予定。見物を望みます。

。 五月三日 春期カブピクニツクを行ふ予定。つき父兄共に日をおあけいただき御参加下さい。ようにお願い致します。

○ お誕生日 三月十五日 谷中信行君、十九日 田中正彦君
四月三日 戸倉豊君 四月二十日 太田登君 二十七日 眞木壯一郎君 二十九日 三田忠昭君

二つの前の近の島ピクニツクで望月君あまり島の近くによりすぎて頭の毛をつかまえて指をかすめる。島に近くへからず

出席一〇〇パート

三月五回

積立金

山崎孝次君	大和秀一君
上村督貞君	畠中正彦君
高橋弘幸君	鳥生昭夫君
望月敏郎君	古矢経一君
谷中信行君	戸倉豊君 福井徹君
小笠原和高君	富山健君
柏崎隆君	

育成会費、隊費

山崎孝次二・三	犬飼幸二・二・三
有馬健太郎二・三	小笠原和高二・三
三木正弘二・三	万石俊夫二・三
川正興二・三	川正興一・三
福井徹二・三	畠中正彦二・三
高橋弘幸二・三	柏崎 隆二・三
望月敏郎二・三	鳥生昭夫二・三
古矢経一・三	富山 健二・三

カブルーム

カブルーム、床を張り、ペン
キをぬつて部屋がきれいにな
りました。

高橋さんのお得意でビニール壁紙をきれいにはつていただき、立派なカブの巣となりつてゆきます。みんなでかわいいかり、きれいにしまーよう。

和度赤です。育成会費、隊費、登録費の未提出の方は、整理の都合上、なるべくお早くお出し下さい。よつにお願いいたします。



ボーカスガウトでは去る三月二十七、二十八の両日に行なわれました。恒例のオバ・ナイ・ハイキングが行なれました。桜原さんも参加しました。これは畠中じゅう、班又はあ

で歩きながら訓練するのです。懸垂幕を立ててうし地区を見ながら、追跡サイン等によりハイキングを行なました。

二二二じかのよう

スマートな

サラス・ボニタ サラス・ボンダ

サラス・ボニダ レツセソセ

サラス・ボンダ サラス・ボンタ

サラス・ボニダ レツセソセ

オドラー オドラー ブニダラ

オトラブニダラ レツセソセ

オセアセオ

カブスカウトだ

ぼくたちは

いつもげんきで

ほがらかに

ちいさいけれども

しんじです

一、あけやくそらの
そよがぜに
たかくかかげた
ひのまるは
ああ はれやかに
ゆれている
めかい日本の
ゆくみちを

てらすこのはた
あおごうよ

小こいしんし

ふくろ

ホホー ホホホホー

ふくろよ ふくろ

ふくろのおめめはなぜにまるひの

わたしのあめめはけせにまるひの

ふくろはもりのよるの玉さまよ

わたしは

ふくろのかやどは

わたしの

二
にほんのそりに
ひのまるを
たてて、のねばほのぼのと
ああ ゆめがくる ゆいてくる
ゆめよ はなだけ やまかに
ああハ〜おじの
ふぬのうえ